

祝二十歳!

1月8日 比布町二十歳のつどい

二十歳を迎えた元いちごっ子が集い、友人や恩師との久しぶりの再会に笑顔の花が咲きました。

令和5年比布町二十歳のつどい



町民のみなさんと議会をつなぐ

びっぴが議会だより

発行 北海道比布町議会

編集 議会広報特別委員会

- 2 審議結果「第4回定例会」(ほか)
- 4 一般質問 / 今井 明信 議員 比布町の医療と介護について
- 5 一般質問 / 植西 浩一 議員 良佳プラザ・遊湯びっぴの運用について
- 6 一般質問 / 谷口 雅浩 議員 学校給食の無償化について
- 7 一般質問 / 遠藤ハル子 議員 妊娠から出産・子育てまで手厚い支援策拡充を
- 8 植西浩一議員に対する問責決議を可決

12月13日

第4回定例会



指定管理者の指定など議案8件を審議

12月13日に開かれた令和4年第4回定例会では町の課題等に対し、4議員が一般質問をしました。その後、議案8件と決議案1件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

なお、一般質問は4〜7ページに掲載しています。

連携

◆連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約

旭川市との間における連携協約に次の4事業を新たに追加するものです。

- 新規就農者等の育成
 - ヒグマ対策の推進
 - ゼロカーボンの推進
 - 旭川大雪圏東京事務所を活用したシティプロモーション等の推進
- 【原案可決】

指定

◆指定管理者の指定

地方自治法の規定に基づき、各施設の指定管理者を次のとおり指定するものです。

- 比布町交流促進施設「良佳プラザ・遊湯びつぷ」指定管理者
株式会社 荒尾

代表取締役 荒尾 一之氏

質疑 植西議員

民間活力をどのように活用して

いるのか。町内経済への効果が見えない。

答弁 産業振興課長

町直営時代と比べ、来場者数等の減少は緩やかになっており、利用者からの評価が高い。町内28事業所、約3千万円の年間取引がある。

再質疑 植西議員

今後の運用経費の圧縮の考えは。

答弁 産業振興課長

物価高騰で大きな削減はできていないが、指定管理者とは細かい部分まで話し合っている。

再々質疑 植西議員

なぜ指定管理の事業者を公募しないのか。

答弁 町長

指定管理者から運営改善の提案があり、営業業務体制の改善が図られていることや所管の産業建設常任委員会でも指定の考えに概ね同意をいただいたことから、選考委員会において公募によらない指定が決定された。

質疑 今井議員

施設を運営していくための町のプランは。

答弁 町長

施設の有無はスキー場や町内事業所の売り上げに影響する。今後の施設のあり方、観光を議論していきたい。

再質疑 今井議員

良佳村全体のあり方について様々な意見、民間のノウハウも活用し、良いゾーンにしてほしい。

答弁 町長

良佳村全体をトータルで考え、次の3年間で議論を進めなければと考える。

反対討論

植西議員

運営状況を所管の常任委員会だけではなく、全議員に示したうえで公募をしない理由を説明してほしい。自分は公募によって観光事業のプロに任せ、運営内容の改善を図るべきだと思う。

賛成討論

今井議員

コロナ禍の影響もあり、再募集したとしても新規参入者がいるとは考えづらく、デメリットが大きい。本指定管理者はこれまでの実績もあり、地元の評判が良く、指定に値する事業者だと考える。

採決

賛成6（遠藤・谷口・澁谷・安藤・今井・大熊）

反対1（植西）

【賛成多数により原案可決】

※議長は議事運営上、採決に加わりません。

条例

◆地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

職員の定年延長に伴い、関連する条例の整備を行うものです。
【原案可決】

◆比布町議会議員及び比布町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動費用の公費負担の上限額等を政令に準じて改正するものです。
【原案可決】

補正予算

- ◆一般会計（第8号）
- ◆一般会計（第9号）

◆観光事業特別会計（第1号）

◆公共下水道事業特別会計（第2号）
補正額と総額、主な内容は左上の表のとおりです。
【原案可決】

第6回臨時会

11月30日

◆専決した事件の報告

公園敷地内における草刈り作業中の事故による賠償報告

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院給与勧告に基づき、議員、特別職に支給する期末手当の割合を100分の10引き上げる条例改正です。
【原案可決】

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
人事院給与勧告に基づき職員に支給する月額給与の一部改定及び勤勉手当の割合を100分の10引き上げる条例改正です。
【原案可決】

◆一般会計（第7号）
補正額と総額、主な内容は上の表のとおりです。
【原案可決】

令和4年度各会計補正予算（第6回臨時会）	
一般会計（第7号）	230万円の増（総額40億3,473万1千円） ■職員給与費・手当の増
令和4年度各会計補正予算（第4回定例会）	
一般会計（第8号）	2,180万3千円の増 （総額40億5,653万4千円） ■新型コロナウイルスワクチン接種事業、交流促進施設運営事業の増ほか
一般会計（第9号）	132万円の増（総額40億5,785万4千円） ■町立学校運営事業・工事請負費の増
観光事業特別会計（第1号）	305万7千円の増（総額1億7,652万9千円） ■観光事業関係費・消費税の増
公共下水道事業特別会計（第2号）	100万円の増（総額5,727万7千円） ■下水道施設維持管理事業・修繕料の増



比布町の医療と介護の今後は

村中町長

住み慣れた地域でいつまでも安心して生活していけるよう努めたい



今井 明信 議員

□質問・今井議員

団塊世代全員が75歳を迎える2025年問題まで残りわずかな時間となっています。超高齢化社会をこれから過ごすために考えなければいけないことが「医療と介護」です。本町の高齢人口は一定の数値を保っていますが、要介護認定率は上がっています。国は医療と介護の一体的な改革を進めています。本町の医療と介護の今後について質問します。

①要介護認定者が増加しており、原因疾患の上位が「脳血管疾患」と「認知症」となっている。現状と今後の対策を考えているか。

②障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）が高くなっている。一方で現在、訪問看護利用者は多くない。たんぽぽクリニックも閉院したが、今後の在宅医療への取り組みについて考えがあるか。

③要介護1・2の高齢者に対する訪問介護、通所介護を市町村が運営する「総合事業」へ移管して保険から外す構想を国が考えているが、新たな事業の考えがあるのか。

■答弁・村中町長

①町では認知症講演会や認知症サポーター養成講座を開催するなど認知症予防の普及啓発に努めています。また、認知症初期集中支援チームを設置し、認知症地域支援

員を配置することで専門機関との連携強化を図り、認知症が疑われる方に対しての早期対応にも努めています。脳血管疾患対策では壮年期からの基礎疾患の予防、管理が重要となります。

②町では当麻町、愛別町、上川町、比布町が共同実施する当麻地域訪問看護ステーションを設置し、医療・介護保険で訪問看護が必要な方には主治医の指示のもと、訪問看護師が家庭を訪問し、看護サービスを提供しています。

訪問診療については、これまで医療法人社団友崇会たんぽぽクリニックにおいて、少数ですが実施されてきました。しかし、担当医師が亡くなり閉院となりました。現在、ぴっぷクリニックでは訪問診療は行われていません。

③現段階で国からは明確な指示等もありませんので、現状で新たな事業は計画していません。

□今井議員 現在、本町の要介護認定者は9月末で314名です。

その内、在宅の要介護認定者は68%と非常に多いと思います。特に今、コロナ禍で病院に行けない方が非常に増えており在宅医療への関心が高まっていますが、当麻町の訪問看護ステーションの利用率は5.4%と非常に少ない状況です。この訪問看護サービスを町民

は理解していますか。併せて今後、町での訪問診療をどうするのか伺います。

■村中町長 サービスを町民全体への周知というよりも、該当になった方へ周知することが必要かと思っています。本人、家族も含め様々な相談があると思いますが、丁寧に対応していると考えています。ぴっぷクリニックにおける訪問診療は法人の経営方針等にも関係することなので、必ず行っていくべきとは言えません。

□今井議員 例えば脳梗塞で倒れ、急性期病院に運ばれた後に通所のリハビリステーションに通うことになりましたが、町内にはありません。患者さんは大変な思いをして旭川市等へ、リハビリに通院しているのが現状です。法人の経営方針とこのことですが、地域の実情に合った医療体制が必要です。今後のぴっぷクリニックの運営も含めた町の医療体制について再度、伺います。

■村中町長 リハビリ施設も含め町民の声にきめ細かく対応できるか難しい問題だと思います。町立診療所として町民の方々が安心して診察できる体制でなければいけませんので、法人にも要望をしています。地域にとって必要な医療について協議をします。



良佳プラザ・遊湯びっぷ これからの運営は

村中町長

施設のリニューアルや良佳村全体の 方向性を協議していく

□質問・植西議員

現状の運営コストを分析すると経費が多かりすぎている。この温浴施設の運営を継続するにあたり、このようなコストをかけ続けるのか、それとも、ある程度の期間をもって新たに計画を立てる予定なのか。また、その運営コストの計画を実施する根拠をお聞かせください。

■答弁・村中町長

平成24年度より民間事業者のノウハウを活用した指定管理者制度による運営に移行し、経費の圧縮を図りつつ、きめ細やかなサービスが提供されています。得意分野である料理を生かした運営が旅行誌でも高い評価を得るなど、来場者の減少も緩やかとなり、一定の成果を上げながら運営を行ってきました。そして、公共施設として、運営コストだけでは表すことができない大切な部分もあることから、当面は施設の運営を継続していく考えです。施設、設備の老朽化に係るリニューアルや良佳村全体としての方向性について、財政面を含めた協議を観光振興審議会などと進めます。

植西 浩一 議員

□植西議員 指定管理者制度は、民間活力を活用するために取り入

れた制度ですが、以前、担当課長に民間事業者がどのような努力をされているのか聞いたところ、具体的な活事例が示されませんでした。現状はどうですか。

■村中町長 節目のイベントを実施するなど来場者の増に努めており、運営の合理化・効率化が図られています。赤字である以上、成果が出ていないと言われればそれまでですが、努力はしていると認識しています。

□植西議員 お客様が入浴料や宿泊料を払うのは当たり前です。それ以外にお金を使おうとしなければ、コストの相殺にはなりません。そこに民間活力が発揮されなければならぬと思います。

また、そこから町内の他施設の利用につながることも大切なプラス効果です。調査は難しいと思いますが、生活の基盤に必要なところよりもお金を掛けていることに對する説明が必要だと思えます。

■村中町長 教育がないがしろになつているとか、福祉の予算を削っているということはありません。遊湯びっぷも24周年を迎えました。今まで以上にこれから様々な修繕費が掛かってくることは明らかで

す。そういったことも含めて、この良佳村エリアをどうするかということ、そして、比布町の観光はどうするんだということ、この辺は総体的に議論しなければいけないと考えています。

□植西議員 この施設を応援するという気持ちになれば、経費も削減されていくでしょう。また、町内の事業者への誘導も含め、民間事業者が運営しているメリットを出せば、民間事業者活用の意義が高まるように思います。

■村中町長 町有施設ですので、町の責任が全くないということではありません。どうしたら多くの方に比布町で楽しい時間を過ごしていただけなのかといった議論をしながら、この良佳村エリアが比布町にとって大切な施設だと町民に思っていただけのような議論もできればと思います。



良佳村フェスティバル



谷口 雅浩 議員

未来を担う子供たちへ 学校給食費無償化の考えは

村中町長

社会情勢の変化によっては、給食費を含めた学校教育費の対応を検討したい

□質問・谷口議員

平成30年度文部科学省の調査では、保護者が1年間に負担する学校教育費（給食費含む）は、小学生一人当たり10万6,830円、中学生では18万1,906円となっていますが、現在では増加傾向にあると思われます。

また、令和3年度の比布中央学校の給食費は、前期課程が一人当たり年間約5万3千円、後期課程が約6万5千円となっており、加えて、長引くコロナ禍の影響による収入の不安定化、光熱費をはじめとした物価高騰等により、保護者の皆様は不安を抱えています。

町長は様々なあいさつの中で「住んで良かったと思えるまちづくり」を述べています。保護者の負担軽減と比布町の未来を担う子どもたちのために、給食費の無償化も含め補助する考えはありますか。

■答弁・村中町長

学校給食においても影響を受けており、物価高騰による食材費も軒並み上昇していますが、本年度も給食費の値上げはせず、上昇分は町費で負担し、量や質も低下させることなく給食を提供しており、今後も同様の対応とすることを検討しています。

また、施設の維持管理や給食調

理員の人件費、燃料費や電気代についても町費で負担しており、保護者の皆様には食材費のみのご負担をお願いしたいと考えています。

子育て世代の家庭に対しては、子ども医療費の無償化や「子どもすこやか手当」の支給など各種支援事業に取り組んできており、未来を担う子どもたちの成長には、安心した生活環境と充実した教育環境を整えることが必要だと考えています。

□谷口議員 既に無償化になっ

ている家庭もありますので、必要な予算をゼロから確保するというわけではありません。方針への影響が一番大きいのはやはり町長の意識だと思えます。考えを伺います。

■村中町長 給食費については現

在、相当な食材費の高騰があり、170%程度上がっているという試算もありますが、その上昇分は町費を上乗せし、給食費についてはそのままの金額を負担いただきながら、地域と行政、そして、農家からもお米の支援をいただき、農家の皆さんとともに、みんな協力し合いながら子どもたちの食を守っていかねばと思っていますので、ご理解をお願いします。

□谷口議員 今では子どもを地域

で育てる。子どもは地域の宝として、全体で育てるといふ流れだと思います。その中で、やはり給食の重要性をもう一度検討いただきたいのですが、考えを伺います。

■村中町長 現在進めているピピ

カツ事業でも「運動と食」ということで、食べ物人間を形成する上で本当に大切なものです。ですので支援するという意見もありますが、地域みんなで協力して子どもたちを育んでいこうという考え方もあるかと思えます。

そして、本当に給食費の負担が困難な家庭については、支援制度の中で支援をしています。

□谷口議員 地方創生臨時交付金

を活用した話もありますが、交付金というのは本来に一時的なものであって、恒久的なものではありません。

■村中町長 皆様からのご負担が

あることよって質の高い給食を提供することができており、これから保育園などにも広げていければと考えています。給食費に限ってではなく、総体的に議論していきたいと思えます。



妊娠から出産・子育てまで 手厚い支援策拡充を

村中町長

妊産婦などから様々な意見を伺い 切れ目のないケアを充実していきたい



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

令和3年に生まれた日本人の子どもは81万1,622人で、過去最少を更新しました。出生数の減少は6年連続で出産・子育てをしにくい国である現実を打開できていないことは深刻です。

子どもと子育てに冷たい政治を続けてきた国の責任は重大です。妊娠・出産・子育ての安心を保障する政策への切り替えが急がれます。一人の女性が生涯に産む子どもの推計人数の3年の合計特殊出生率は1・30となり、前年より0・03ポイント低下し、過去4番目の低さとなりました。

そこで町長に比布町の妊娠・出産・子育て政策の見直しと拡充策を伺います。

①妊婦健診や出産費用の軽減策、妊娠・出産にかかる経済的負担、出産一時金の現状と拡充策はありますか。

②心身ともに不調になりやすい産後の支援をつよめるために予算を増やし、退院直後の母親の心身のケアや育児サポート事業を継続してすすめていけるようにするなど、産後ケアセンターを旭川市と提携しての支援の考えはありますか。

③不妊治療の経済的、精神的負担の軽減をはかる保険適用の範囲の拡大が実現しています。不妊専門

相談センターとの連携やカウンセリング体制を強化し、悩みや思いに寄り添ったアドバイス、支援ができる体制の整備、拡充の考えはありますか。

■答弁・村中町長

本町の合計特殊出生率は、昭和58年の1・51人から徐々に低下し、現在は1・20人ほどで推移している状況です。町として、妊娠・出産・子育て政策といった少子化対策に取り組んでいくことが重要であると考えています。

①町では妊娠40週までの14回分の妊婦健診費用の全額と産後2回の産婦健診費用の助成を行っており、妊産婦の費用負担の軽減を図っています。

また、出産育児一時金は、健康保険法を根拠に、支給総額は42万円と定められおり、現状では一時金を拡充する考えはありませんが、政府は令和5年4月から出産育児一時金を引き上げる考えを示していますので、法令化された場合には、法の根拠に基づき増額する考えです。

②令和3年度から産後ケア事業を開始し、居宅訪問型と助産院への日帰り型の実施、助産師による保健指導や産婦の母体管理、授乳指導などを行ってまいります。5年度からは居宅訪問型の委託先を2か所から3か

所に増やすとともに、新たに宿泊型の導入も検討しています。

③不妊治療に対する相談については都道府県や政令市などに設置されている「不妊専門相談センター」など専門機関を紹介することが可能で、不妊治療に不安を抱える方に適宜案内していきます。

□遠藤議員 保健師との懇談で、ストレスのない子育てをしてほしいというのが願いだと話していました。妊娠してから母子手帳発行後の妊婦への支援が足りないように思います。

■村中町長 産後ケアも3年度から実施したばかりで不十分なところもあると思います。産前のケアも含め足りない部分を伺いながらより良い制度にできればと思っています。

□遠藤議員 4年4月から体外受精などの基本治療は全て保険適用になり、有効性、安全性が確認されました。子どもを持ちたいという方々の気持ちに寄り添い、不妊治療への保険適用が早期に実現しています。男性、女性、男女ともに一緒に受診を勧めることになり、相談体制が重要になりますので、適宜紹介されるようお願いします。

■村中町長 保健福祉課全体で相談体制を整えられるようにしていきたいと思っています。

植西浩一議員に対する問責決議を可決

令和4年8月25日に、植西浩一議員が総務常任委員会でも議員に暴言や罵声を浴びせた行為に対し、12月13日、第4回定例会において議員としての品位を重んじ、二度と過ちを繰り返すことのないよう猛省を促すため「植西浩一議員に対する問責決議案」が提出され、賛成4・反対2の賛成多数で可決しました。

■問責決議

比布町議会会議規則第14条の規定により「植西浩一議員に対する問責決議案」を提出する。

提出者

比布町議会議員 今井 明信

賛成者

比布町議会議員 遠藤ハル子

■提案理由

植西浩一議員が8月25日、総務常任委員会の休憩中、会議の進行を巡り大きな声で「暴言や罵声」を他議員に浴びせた。

植西議員はこれまでも会議の場における暴言により、過去にも厳重注意処分を受けた経過がある。

この度の行為は、言動や声の大

きさ、その他の行為によって他の議員を侮辱し、恐怖感を与え、さらに、その内容をSNSで外部に発信したこと、比布町議会としての対応について町内外からのご指摘も受けたところである。これらの行為は議員としての品格が問われるものであり、同時に議会の品位を著しく傷つけ、大きな混乱を招いてきた。

再三にわたるこの行為を我々は議会として決して見逃すことはできず、断じて許されるものではない。

よって、比布町議会としての意思決定のため、植西浩一議員の問責を決議するため提案するものである。

■決議文

植西浩一議員に対する問責決議

議会議員の発言は、他から制約を

受けることなく自由になしえらるという発言自由の原則により保障されているが、「暴言や罵声」を許すものではない。地方自治法第132条において、議員は無礼な言葉を使用する発言は慎まなければならないと規定され、また、比布町議会会議規則第102条の規定において

も、議員は品位を重んじなければならないと規定している。

植西議員はこれまでも会議の場における暴言や罵声、SNSでの発信において住民へ誤解を抱かせたことにより厳重注意処分を受けており、このことにより議会の品位を著しく傷つけ、大きな混乱を招いた経過がある。

そのような中、植西議員が8月25日、総務常任委員会で休憩中ではあったものの、大声で「相手を侮辱する暴言や罵声」を他議員に浴びせた。加えて、机を叩くなどの行為もあり、同席する議員等は恐怖感も憶えた。

この件に関して11月21日に行われた全員協議会で植西議員から聞き取りを行ったが、自らの正当性のみを主張し、謝罪は一切なかった。再三にわたるこの行為、また、行為に対して反省のない態度は、議会として決して容認できるものではない。

よって、比布町議会は植西浩一議員に対し、議員としての品位を深く自覚し、このような行為を二度と繰り返さないために問責するものである。

以上、決議する。

令和4年12月13日
比布町議会

■質疑

Q 罵声や暴言に至った理由が説明されていない。また、処分が公平でないのでは。

A あくまでも委員会中の暴言や罵声に対する問責であり、植西議員はこれまでも同様なことで厳重注意処分を受けており、問責決議は妥当だと考える。

Q これまでの処分は完結しているものであって、問責決議を提出するまでの必要はあるか。

A 言論の自由であっても議会議員として品位に欠ける許されない発言だった。議会という合議体の中のルールに違反しており、また、これまでの処分に対する改善がなかったため問責決議の提出に至った。

■採決

賛成4（遠藤・澁谷・今井・大熊）

反対2（谷口・安藤）

※賛成多数により可決

■厳重注意処分報告

澁谷興二議員に対し、会議中において他議員の発言を妨げるような発言を行ったこととして、令和4年12月2日、議長より口頭で注意がなされました。

委員会のactivities

活動

Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

総務常任委員会 11月30日開催

【総務企画課】

《協議事項》

■第6回議会臨時会提出議案

総務常任委員会 12月1・2日開催

【保健福祉課】

《報告事項》

■高齢者等除雪サービス事業利用状況

◇除雪サービス 133世帯

◇門口除雪サービス 86世帯

■各種健診等の受診状況

■各医療費の状況

■介護保険事業の利用状況等

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案
《その他》

■新型コロナウイルスワクチン接種状況
オミクロン株対応ワクチン31.1%（令和4年11月現在）。12月24、25日の集団接種で約50%の630人が接種する予定となっている。

■くるみ保育園新園舎建設に係る協議の進捗状況

【総務企画課】

《報告事項》

■第4回議会定例会提出議案

■表彰（功労表彰・感謝状）

■ふるさと納税の状況

■道北バスへの支援

■委託型地域おこし協力隊員

■その他

◇化石燃料削減プロダクト「SLOW」の導入

◇特定空き家の経過

◇旭川ガス株式会社との包括連携協定

◇複業クラウドによるSNSアドバイザー

◇滋賀県湖南市友好交流事業

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇連携中枢都市圏形成に係る連携協定の一部変更

42項目の事業のうち34項目で協

定を結んでいる。4年度は16項目で担当者会議を開催した。次年度に向けて4項目を追加。

◇地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

Q コロナ禍で負担の多い課がある。新規採用を控えることなく少しでも増やしてはどうか。今後マンパワーが必要となるだろう。

A 国の臨時交付金等の業務が増えているので会計年度任用職員を含め、採用が偏らないように計画的に進めたい。

◇比布町議会議員及び比布町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

◇令和4年度一般会計補正予算案

◇個人情報保護法の改正に伴う条例の改正の説明

《その他》

■行政機構の変更

【生涯学習課】

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

《報告事項》

■令和3年度比布町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価

■町立学校校舎改修工事実施設計

■義務教育学校「比布中央学校」行政視察

◇寿都村議会（10月4日）10名

◇下川町教育委員会（10月20日）6名

■君の夢プロジェクト

◇全体講演会（11月1日）

講師 藤村 正宏氏

講師 藤村 正宏氏

義務教育学校 「比布中央学校」を視察

12月2日、総務常任委員会では「比布中央学校」の現状を調査しました。委員らは校舎内を回り、職員室の改修計画を確認。また、後期課程の授業を見学しました。その後、三浦校長、草薙教頭、玉置教頭らと意見交換を行い、義務教育学校の現状、教職員や児童生徒の近況などを伺いました。



写真上／後期課程の授業を見学
写真下／意見交換の様子

総務

◇吹奏楽部（11月15～16日）

講師 エリック・ミヤシロ氏

■練成会との包括連携

■社会教育・図書館事業

◇町民芸術鑑賞会「東京メトロポ
リタン・ブラス・クインテット公演」
（9月19日）〈来場者数〉135名

◇アート教室（10月30日）

〈参加者数〉子ども5名、大人12名

◇町民文化祭（10月28～30日）

「芸能発表」11団体出演

「作品展示」14団体1、082点（個
人含む）

〈来場者数〉394名

◇としよかんでお月見（9月8日）

〈参加者数〉子ども29名、大人16名

◇としよかん古本市（9月9～27
日・15日間）

〈来場者数〉155名

◇としよかんまつり（10月1日）

〈来場者数〉子ども47名、大人22名

◇令和5年比布町二十歳のつどい
（令和5年1月8日）

〈対象者数〉29名

■スポーツ振興事業

◇第55回全町ソフトボール大会（8



ヒルクライムレース大会

月28日）11チーム参加

「A級」優勝 緑町／準優勝 新町

「B級」優勝 北町／準優勝 寿町B

◇第3回比布町ヒルクライムレー
ス大会（10月2日）

〈参加者数〉257名

〈来場者数〉443名

◇フィットネス教室（10月10日）

〈参加者数〉延べ33名

◇ぶらりピップまち歩きIV（10月
21日～11月17日）

〈参加者数〉44名

◇第44回全町女性バレーボール大
会（12月4日）

〈参加チーム〉6チーム（東・西・南・
新・寿・緑町）

■所管施設工事等状況

◇学校体育館ウレタン施工及びス
テージワックス施工工事

◇体育館2階観覧ホール手摺り廻
りシーリング打替え工事

◇体育館バスケットボールバック
ボード整備工事

10/26 上川管内 町村議会議員研修会

令和4年10月26日、旭川市で
開催された「令和4年度上川管
内町村議会議員研修会」に議員
7名が参加しました。

はじめに株式会社日本総合研
究所の調査部・首席研究員の藻
谷浩介氏の講演を拝聴しました。

お話は「道北はコロナ禍をチャ
ンスにできるか」と題し、独自調
査をもとに、「上川地域周辺の町
や世界の人口減の国はどこか？」
「輸出の減・黒字の国はどこか？」
「産業が伸びた国はどこか？」な
どクイズを出しながらのお話で
した。

特にリーマンショック直後の
2010年と2020年の比較
で国内の売上が増えた産業は何

かのクイズは圧巻でした。農業・
林業・漁業・製造業・小売りサー
ビス業の結果を比較したもので
す。

会場と講師が一体となった講
演は初めてでしたので、引き込
まれていき「目からうろこ」の
話が最後まで続きました。割れ
んばかりの拍手に笑顔がほころ
びました。

続いて、定池祐季氏（東北大
学災害科学国際研究所助教）か
らは、「北海道の防災教育、被災
者支援の充実に向けて」と題し、
北海道南西沖地震を奥尻島で経
験したこと、2012年から厚
真町の防災教育に関わり、胆振
地方東部地震発生後は災害対応
や復興・生活再建にかかわる支
援活動を行っている経験が話さ
れました。

地域資源を生かした防災教育
の効果として、理解が深まり適
切な行動をとれること、防災教
育活動にかかわる方々が、平時
の学校運営に貢献してくれるこ
となどの具体例も出され、いつ
どこで起きるか分からない災害
にわが町でも更なる防災・災害
対策が必要だと感じました。

（遠藤ハル子）



▲定池祐季氏



▲藻谷浩介氏



訪問を強化している。

《協議事項》

■地方税電子納付等の運用開始に向けた準備状況

総務常任委員会

12月13日開催

【生涯学習課】

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

産業建設常任委員会

12月5日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■農産物出荷・青果物販売実績

■町単独事業実施状況

◇青果物等振興事業 10件

◇畜産振興事業 5件

◇農地流動化促進対策事業

売買支援43件・賃貸支援 30件

◇ぴっぴいちご新たな生産モデル

確立実証事業 1件

■経営所得安定対策等交付金

■令和5年産米「生産の目安」に係る経過と予定

■ぴっぴいちご振興事業（4期目）の経過

■地方創生臨時交付金を活用した事業

◇比布町農業持続・発展支援事業

◇農業生産費高騰対策事業

◇比布町型スマート農業推進事業

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約

新規就農者の育成・ヒゲマ対策の連携推進

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和4年度各施設の利用状況

■地方創生臨時交付金活用事業

(1)商工業振興補助事業

通常型6件 コロナ型9件

(2)「支え合おう！ぴっぴの元気づくり商品券」給付事業

商品券利用率89・1%、食事券

利用率80・1%（11月30日現在）

(3)比布町生活応援商品券給付事業

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇「良佳プラザ・遊湯ぴっぴ」第

4期指定管理者の指定

◇令和4年度一般会計・観光事業

特別会計補正予算案

【建設課】

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

■令和4年度除雪計画

◇町道除雪総延長 124.4km

◇除雪トラック等 9台

◇除雪従事者 10名

■まちづくり懇談会での意見・要望事項等

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和4年度公共下水道特別会計補正予算案

【農業委員会】

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

《協議事項》

■第4回議会定例会提出議案

◇令和4年度一般会計補正予算案

全員協議会

11月21日開催

《協議事項》

◇会議の運営について

全員協議会

12月14日開催

《協議事項》

◇社会福祉法人大悲会の現状報告

速報
開催しました
議会と話そう会

住民の皆さんとの意見交換会「議会と話そう」を1月19日に東園地域センターで、また、25日に福祉会館でそれぞれ開催しました。

会場では3班に分かれ、議員が2名ずつテーブルにつき、進行と記録を行いながら、議員定数や報酬、傍聴のあり方、なり手不足問題などの様々な質問に答えました。

詳しい内容は、議会だより臨時号（3月発行予定）でお知らせします。



▲1月19日開催の様子

議会のうごき

11月

- 8日 上川町村議会議長会臨時総会・町村議会議長全国大会・上川中央部町議会議長現地研修会 ～ 11日 (東京都ほか、議長)
- 21日 全員協議会 (役場、全議員)
- 22日 上川中央部市・町議会正副議長研修会 (美瑛町、正副議長)
- 30日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第6回議会臨時会 (役場、全議員)
大雪浄化組合議会定例会
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
上川中部福祉事務組合組合議会定例会 (愛別町、各組合議員)
- 13日 第4回議会定例会 (役場、全議員)
総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 14日 議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 22日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)

1月

12月

- 1日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 2日 総務常任委員会 (役場ほか、委員・議長)
- 5日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 8日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 7日 比布消防団出初式 (改善センター、各議員)
- 8日 比布町二十歳のつどい(改善センター、全議員)
- 11日 今津ひろふみ連合後援会事務所開き (美瑛町、議長)
- 12日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 16日 議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 19日 議会と話そう① (東園地域センター、全議員)
- 23日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
- 25日 議会と話そう② (福祉会館、各議員)
- 27日 上川中央部市・町議会議長会定例会議 (東川町、議長)

編集後記

「コロナ禍の中、一日も早く以前のような日常を取り戻すべく、できることを少しずつ、歩みを止めることなく関係機関はもとより、市民の皆様におかれましても、努力を重ねてきた3年間だったのではないのでしょうか。

地方自治体として、

課題は山積みではあります。議会では次年度からタブレット導入(ペーパーレス会議)への検討、ユーチューブ配信、意見交換会「議会と話そう」の実施継続、4月には統一地方選挙もあり、新人議員の誕生により多様な議員の意見等で、変化の

年になるのではないのでしょうか。

議会だより、次回5月発行時には、議会広報委員の入れ替えもあるかと思いますが、皆様に読んでいただけるよう工夫を凝らし、発行してまいりますので、よろしくお願いいたします。

「議会と話そう」への参加ありがとうございました。今後とも議会の傍聴、議会だよりへのご意見をお待ちしております。

(安藤 裕子)

